

草の根・人間の安全保障無償資金協力 アスタラ県で供与式を実施

2022年10月21日、日本政府が草の根・人間の安全保障無償資金協力の枠組みで支援した「アスタラ県デガディ村学校校舎増築計画」の供与式がアスタラ県で行われました。式典には和田純一日本国特命全権大使、ガザンファル・アガエフ・アスタラ県知事、科学教育省ランカラン局長、被供与団体である社会問題支援協会の代表が参加しました。

本案件は、アスタラ県デガディ村学校の敷地内に新たに6教室とトイレを有する校舎を増築することで、同学校が抱えていた教室数の不足を解消し、対象地域の教育環境の改善を図ることを目的としています。本件に際し日本政府は、校舎増築に必要な資金として約150,000マナト（88,757米ドル）を供与しました。

これまでアゼルバイジャンで署名された草の根無償資金協力による事業は総件数283件のほり、供与総額は2389万米ドル（約25億円）を超えています。

草の根無償資金協力は、アゼルバイジャン国民の生活向上のために、教育、保健、公衆衛生、農業支援等の分野における、住民に直接裨益する比較的小規模な事業のために必要な資金を供与するものです。また、被供与団体として、地方公共団体、教育機関、医療機関等の非営利団体が資金協力を要請することができる事業であり、在アゼルバイジャン日本国大使館に対し申請をすることができます。

